

独歩・協働

津島市立神守中学校
第2学年 学年通信 No.9
令和3年 2月19日発行

『働く』とは？職場の方から教えていただきました

キャリア教育の一環として、地域の事業所に「働く上での生徒の疑問」に答えていただきました。生徒には総合の授業で、すべての回答を集約したものを配付しましたが、こちらでも一部を紹介いたします。



Q「どんなことにやりがいを感じていますか」

(美容院) お客様から「ありがとう」と喜んでいただけるときの笑顔を見られること。
(精機会社) 与えられた仕事をやり遂げたときの達成感。特に難しい課題を仕上げたときの成功体験。
(栄養教諭) 自分が考えた献立を調理員さんと協力して作り、学校で残さず食べてもらえること。「おいしい」といつてもらえること。

Q「学生のうちに、経験しておいた方がよいことを教えてください」

(運輸会社) 人間形成・自分自身を磨くために、本を読むこと、新聞を読むこと、よい映画を見ること、よい絵画を見ること、よい音楽を聴くこと。
(スーツ会社) 何事でも経験やチャレンジできる機会があればやるべき。

Q「児童・生徒・学生」と「働く人」ではどのような違いがありますか」

(調理員) 学生には満点があるが社会人には満点がない(努力に天井がない)。学生は怠けたら自分に返ってくるが、社会人は周りの人に迷惑をかける。学生は気の合う人と居ればよいが、社会人はどんな人とも人間関係を築く必要がある。

(消防署) 学生の間は両親・社会が守ってくれるが、社会人は全ての行動に責任が伴う。

(小学校教諭) 「自分のために学ぶ」か「人のために学ぶ」かの違い。長い期間で考えると、児童・生徒・学生のときに学ぶことも「人のために学んでいること」に繋がる。

いかがでしたか？今年にはコロナ禍で、生徒の職場体験が中止となりましたが、「働くこと」の意味や考え方に触れられたのではないかと思います。中学校生活を、「**人生を歩んでいくために必要な力を蓄える時期**」として捉えるならば、質問に対する回答にもあったように、誰とでも人間関係を築こうとする努力が必要だと思います。つまり、必要なときに必要な会話をする努力をしていくということです。生徒が将来働くことを意識して、生活の中で自己を高めていけるように、我々も支援していきたいと思っております。

来年度より『各教科の評価』が変わります！

残り一ヶ月と少力で、3年生に進級します。これまで神守中学校の教育活動や学年運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。3年生への進級を見据えて、総合的な学習の時間において、愛知県の高등학교の仕組みについて学習をしているところです。ご家庭でも話題にしてもらうとともに、卒業後の進路を見据えて、悔いのないように学習に取り組んでいって欲しいと思います。

さて、文部科学省の通知により、来年度より新学習指導要領が全面実施となり、各教科の評価方法が変わります。これまで各教科において、4観点(国語は5観点)「関心・意欲・態度」「思考・判断」「表現・技能」「知識・理解」で評価されてきましたが、来年度からは全教科で3観点「**知識・技能**」「**思考・判断・表現**」「**主体的に学習に取り組む態度**」で評価されることになります。

「主体的に学習に取り組む態度」については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた**粘り強い取組**を行おうとしているか、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの**学習を調整**しようとしているか、という側面から評価されることとなります。宿題を欠かさずに提出し、授業に真面目に臨むのみでは十分とはいえないということです。レポート形式の宿題も出される可能性があります。「どのような知識及び技能を活用したか」「誰とどのような話し合い(学び合い)をしたか」「何に気付いたか」「今回の課題の取組方はどうだったか」ということなども振り返り、学習していく必要があります。つまり、自分の学習状況を理解して、考えて粘り強く学習に取り組んでいくことが大切だということです。各教科の授業において、日頃から生徒が主体的に学習に取り組んでいけるように、声をかけていきます。詳しくは文部科学省の国立教育政策研究所のホームページなどをご参照ください。

↳ ホームページ <https://www.nier.go.jp/>

「知識・理解」

→学習の過程を通じた知識及び理解の習得状況について評価

学習の過程を通じた知識及び理解を既存の知識及び技能と関連付けたりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価

「思考・判断・表現」

→知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

「主体的に学習に取り組む態度」

→知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価



参考文献：「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 文部科学省より